



令和4年 南高梅の生育概況・推移

撮影地：和歌山県田辺市三栖



令和4年6月7日



コメント（令和4年6月7日時点）

現在、青梅の収穫がピークを迎え、定点調査園は収穫を終えています。

産地では、熟した果実が落果し始め、ネットによる完熟果実の収穫が始まっています。

※令和4年産のうめ営農情報の更新は今回が最終となります。

令和3年5月24日



令和4年5月23日



コメント（令和4年5月23日時点）

5月23日時点の縦径は 35.5 mmで、前年比 100%、平年比 103%となっています。

5月19日実施の西牟婁地方果樹技術者協会による着果状況調査では、基準樹における1枝当たり平均着果数は南高で40果(前年比102%、平年比131%)となりました。

令和3年5月6日



令和4年5月6日



コメント（令和4年5月6日時点）

5月6日時点の縦径は 30.0 mmで、前年比 99%、平年比 101%となっています。

4月14日実施の西牟婁地方果樹技術者協会による着果状況調査では、基準樹における1枝当たり平均着果数は南高で53果(前年比98%、平年比133%)となりました。



令和3年4月6日



令和4年4月7日



コメント (令和4年4月7日時点)

現在、展葉と果実の肥大が進んでいます。4月7日時点の縦径は約 18 mm で、前年・平年に比べてやや小さい状況です。今後、生育に伴い、第1次生理落果が起こります。

生産量を把握するため、4月中下旬に着果量調査を実施する予定です。

令和4年3月22日



コメント (令和4年3月22日時点)

現在、開花終期を過ぎ、幼果が見え始めています。本年は開花が平年より遅く、開花期間中も低温で推移したことで、開花期間は平年よりやや長くなりました。

開花が遅く、その後も低温で推移したことで、生育は平年に比べて遅くなっています。

生産量を把握するため、4月中下旬に着果量調査を実施する予定です。

令和4年3月3日



コメント (令和4年3月3日時点)

西牟婁地域の満開期(8分咲き)は2月26日で、開花後も気温が低く推移したため、昨年に比べると12日程度遅くなりました。開花期間中の気温が低く、曇天・強風の影響でミツバチの活動日数は前年に比べて少ないものの、風の無い暖かい日にはミツバチの飛来が確認できています。

令和4年2月18日



コメント (令和4年2月18日時点)

西牟婁地域の開花始め(2分咲き)は2月14日で、2月の気温が低く推移したため、昨年に比べると6日程度遅くなりました。産地では結実を良くするため、ミツバチの巣箱を設置しています。